55, M. Kobayashi
小林義雄殿
R. Salvão Bueno, 407

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

(1) No. 1.498 — 5a. Feira, 26 de Maio de 1938

聖市アッセンプレア街十六番地
郵函二七六五
發行所 聖州新報社
發行人 香山六郎
購讀料 一年五〇圓
廣告料 一段七二圓

NOTICIAS DE SÃO PAULO
Caixa, 2765 — Fone, 2-5659
R. ASSEMBLÉA, 16
S. Paulo — Brasil

聖市新報

日本軍の放つた矢は見事・金的を射落さうす

反蔣運動表面化し國府分裂の徵

事變以來最大の危機に直面

外紙報道

（ロンドン廿四日）廿四日のタイムス紙漢口特電によれば支那軍の情況につき左の如く逃べてゐる

相次ぐ敗戰のため支那軍の間には漸く内紛の徵あり鄭州、開封等には不穩の氣が漲つてゐる模樣である、今にして支那軍最高司令部が各軍間の統率に遺憾なきを期し得ないならば日本軍の放つた矢はまんまと金的を射落すことになろう

（ニューヨーク二十四日）二十四日のニューヨーク・タイムス紙、上海特電は敗戰に喘ぐ蔣介石政權に最大の危機が見舞ひつゝあると斷じ左の如く逃べてゐる

反蔣運動の表面化と共に漢口政府は政治的、軍事的分裂の兆があり支那は今や事變勃發以來最大の危機に見舞れつつある、從來秘かに日本との和協を希望してゐた一部要人の動きは最近俄かに活潑となり、一方アモイの喪失に悲鳴をあげその地盤廣東地方の侵害を最も恐れる廣東派領袖がこれに相呼應して和平氣運は濃厚化する形勢にある

網の中の支那軍

哀れ・脱れても處斷の運命

降伏の機運漸次濃化

（徐州二十五日）徐州大包圍戰に逃げ遲れた三十ケ師以上の敵は南北に張りめぐらされたわが包圍網の中に追ひ込まれその一部は徐州の東南方江蘇省内に脱れ夜間を利用して漢口方面への遁走の機を窺つてゐるが永城、蒙城方面に網を張るわが各部隊に發見され殲滅的打擊を受け再び網の中に追ひ込まれてゐる、併も李宗仁逃亡後有力幹部も續々部下を捨て去り網の中の支那軍の運命は既に決り今や討伐軍に粉砕されるか敗殘兵となつて各所を逃げまどふかしかなく併し彈藥、糧食の補給なき爲め全く戰意を喪失してゐる、かくて敗殘の將兵は江蘇省内に身を置く處なく例へ漢口方面に奇蹟的に逃げても蔣介石より敗戰をせめられ處斷される運命にあるので寧ろ日本軍に降り新興支那政權に參加せんとする機運が漸次濃厚となりつゝある、尙去る二十日わが軍に捕虜になつた第二十二軍長譚道源は戰傷のため間もなく絶命した

（東京二十五日）木戸文相は學生々徒の集團勤勞作業に重きを置き、二十四日直輪學校長會議において主旨を強調したが、各學校長とも此の勤勞作業は時局下に最もふさはしい學生の精神鍛錬と、團體訓練の教育方法であるとして文部省の方針を支持、各校共この夏から實行することになり意義あるものとして注目されてゐる、今年度の實施方法は大體左の要項に依つて行はれる

一、實施期間、夏期休暇の始期又は終期に五日間前後

二、作業種目、各學校の授業實習等の特殊事情で決定

三、作業期間中は校舍、寄宿舍、寺院、天幕などに合宿生活を行ふ

四、作業の種目は各自治體並に砲車の縱隊を目掛けて一齊に猛射を浴せた、敵は大混亂に陷り死體五百餘重砲五門

學生生徒の集團勤勞

今夏から實施

木戸文相の主唱で……

民衆は敵でない

わが兵支那農民に混つて

麥の刈入お手傳ひ

（上海二十四日）我軍の大勝利に歸した徐州會戰を契機として江北の曠野に早くも平和の光がさし初めて來た、蒙城、永城臨涣集を中心に雙走集、板橋集、南北鎭等では今百度に達する炎熱下で農夫が麥の刈入に懸命だ、兵火に見舞れた之等の農民も皇軍將兵の温かい恩情にすつかり感いて急造りの日章旗を畔道の楊柳に揭げて營々として働いてゐる、板橋集、雙橋集では〇〇部隊の兵士が大會戰後の休憩のあひ間に戎衣の袖をまくりあげて之等支那農民の間に混つて刈入れを手傳つてゐる何んといふ美しい光景だ民衆は敵ではない、皇軍の戰つてゐるのは抗日蔣政權とその走狗だ、これ以上明確に示すものがあらうか △

徹底した排日取締

支那紙を彈壓・テロ團警戒

邦人・故國に在る思ひ

山田長政以來、一昨年末の鵬機の訪泰、三百年の交通親善飛行、昨年秋の聯盟に於ける重れてのシヤムの棄權、遞關係ではあるが、眞に日泰親善の聲が高揚され親善の實が擧げられて來たのは今回更改された日泰平等通商條約等々親善の實は臨機應變的に擧げられて來た、事變前においては軍艦、鐵道、飛行機の注文その他一般の貿易が揚げられて來たのはここ數年來のことであり、更にこれを具體的に示せば滿洲事變直後、國際聯盟におけるシヤムの棄權、一昨年末の聯盟に於ける重れてのシヤムの棄權、事變以來日泰親善の實は臨機應變的に擧げられて來たのは今回更改された日泰平等通商條約等々親善の實は臨機應變的に擧げられて來た、事變前

ホ首相との會談打切り
ヘ氏突如プラハを發つ
チェッコ軍隊撤收を要求・物別れ
ズデテン地方に非常警戒

（プラハ廿四日）プラハでチェッコ政府側と交渉中のズデーテン獨逸黨々首ヘンライン氏は二十四日午前突如プラハを出發、同黨本部のあるボヘミア國境都市アシュに向ひそのためホッザ首相との會談は中絶の止むなきに至つた、政府側ではヘンライン氏がアシュで私用を濟し次第會談は續行されやうと樂觀してゐるが一部消息通間には廿三日會談開始に際しヘンライン氏とホッザ首相間に重大意見の衝突ありヘンライン氏が交渉開始の前提條件としてズデーテン地方からのチェッコ軍隊の撤收を要求したのに對しホッザ首相は五月廿九日、六月十二日の第二回、第三回選擧當日不祥事突發するのを恐れて撤收を肯ぜず結局物別れとなつたものだとの觀測も行はれ成行注目されてゐる

（プラーグ二十四日）ズデーテン黨首ヘンライン氏はホッザ首相との會談半ばにして二十四日突如プラーグを出發しボヘミヤの國境都市アシュに向つたが、ヘンライン黨首は同市にあるズデーテン黨本部で副首領フランクラ黨領袖と會見、ズデーテン獨逸人問題處理に關するチェッコ政府との今後の交渉方針に就き重要協議を行つた後二十五日チェブ事件の犠牲者獨逸人二名の葬儀に臨み、追悼演說を行ふ筈である、葬儀の前にチェブ市では殆んど全戸に弔旗を掲げ葬儀に參列する獨逸人は續々繰込む等哀悼の裡に無氣味の氣分が漂つてゐる、チェッコ政府側では葬儀當日獨逸人の騷擾が持上る事を極度に恐れチェブ市は云ふに及ばずズデーテン地方一帯に非常警戒の措置を講ずる等、戰々兢々たるものがある、葬儀當日は特にプラーグ駐在獨逸大使館附陸軍武官トウサ大佐、空軍武官ウェリッケ少佐がヒトラー總統を代表して花輪を捧げる筈である

（プラハ廿四日）ズデーテン獨逸人問題解決の曙光が見え出した折柄、又々ズデーテン地方で獨逸人とチェッコ人との衝突事件が持ち上つた

廿四日プラハ西北五十七哩のボヘミア都市プリュックスにおいてズデーテン獨逸黨代議士アイヒホルツ氏が市廳舍前を通りかかつた際他の獨逸人にナチス式敬禮を行つたところ之を見たチェッコ人達が同氏を襲撃したもので幸ひ警官隊の急派で大事に至らなかつたがチェッコ人側から檢束者二名を出した

寺内 畑両指揮官
○○飛行場で會見

（徐州二十五日）徐州會戰をかざる南北軍兩最高指揮官の會見は二十五日午前十時○○飛行場で行はれた、この日北支派遣軍最高指揮官寺内大將は參謀長以下幕僚を從へ早朝○○を出發、中支派遣軍最高指揮官畑大將も參謀長以下幕僚を從へ○○飛行場に相前後して飛來、兩將軍は固き握手を交した後幕僚と共に東天を拜した

敵軍十四ケ師
騎兵十四旅を擊破
○○部隊蘭封攻略の戰果

（北京二十五日）去る十二日夜我が○○精鋭部隊が黄河渡河以來隴海線を遮斷し、蘭封城にいたるまでに遭遇した敵は第五十二、第六十一、第七十八、第八十七、第八十八、第百二十九、第百四十一、第四十三、第百九十五の十六箇師と騎兵十四旅で何れも戰車、重砲、迫擊砲を所有し、中にも第四十六師は軍官學校學生隊の改編部隊でこれ等と交戰、殲滅的大打擊を與へ潰走せしめた、尙隴海線に於て鹵獲した機關車三十餘輛、輕戰車二（この中イギリス・ビッカース製一）砲彈水產局長は滿洲各地、天津、二百發、その外輕戰車約百を破壞したが何れもイギリス製で破壞したが何れもイギリス製

（石家○二十五日）蘭封西北方地區より所在の敵を驅逐しつつ攻進中だつたわが部隊は方地區より所在の敵を驅逐しつつ攻進中だつたわが部隊は蘭封に入城、二十四日朝入城殘敵掃蕩中であつたわが部隊と協力して着任し、先任ユレネフ氏潰走の敵を急追、ハ海線西方に向つてゐる

駐日ソ聯大使
歸國豫定

（東京二十四日○○）東京駐在ソヴェート大使スラヴツキー氏は六月中旬職を辭してモスコーに歸ることになつてゐる、同氏は健康勝れず止むなく辭任するものと傳られてゐるが昨夏東京駐在ソ聯大使として着任し、先任ユレネフ氏に交代したもので着任前はハルビン駐在總領事であつた

日支合辦の
水產會社設立
切半出資・資本金一千万圓
＝三宅水產局長歸京

（東京二十四日）農林省三宅水產局長は滿洲各地、天津、北京、青島、上海等を廻つて二百發、その外輕戰車約百を破壞したが何れもイギリス製約四十日の旅程を終へ二十五日夜歸京したが、日支漁業調整問題に關し左の如く語つた

今回の視察旅行の主要の目的は年額一千万円に上る對支海產物輸出機構を如何に整備するかといふにある從來海產物の輸出は殆んど華僑の手を通じ、二重、三重の中間搾取を受けて初めて消費者の手に渡つてゐたのだが、かゝる不合理を除去し市取引の円滑を圖るため近く日支提携して一大配給統制機關を設立するつもりである、東支海の日支漁業統制に關しては北支に北支水產會社、上海に華中水產會社を設立し、將來は合併するとしても當面二元的統制で進み、目標は兩社共日支漁業の利害調整及び原油漁場資源の確保におき當分は新設會社の進出は極力抑制し將來漁場を日支共同調査の上、これらに對する出漁許可の制當振りを決める方針で兩會社の資本金は各々大體一千万円日支切半出資といふ原則だけは決定してゐる

第十六回
早慶陸上競技
早大十四回連勝

（東京二十二日）第十六回早慶陸上競技戰は本日零時三十分神宮競技場に於て兩軍選手の入場式に始まり同一時四十

兩幕僚長宮殿下に
優あくなる御言葉
除州會戰作戰を御嘉賞

今次の徐州會戰に於て、我が軍が迅速に優勢なる敵を擊破し、赫々たる勝利を收めたるは其の作戰の計劃宜しきを得、各部隊のよく艱苦に耐へし勇猛果敢に行動し海軍航空部隊又適切に之に協力したる結果と認め深く滿足に思ふ、此の旨將兵に傳へよ

（東京廿五日）大本營陸海軍部廿五日午後五時二十分發表、大元帥陛下におかせられては、本廿五日午前十一時三十分兩幕僚長宮殿下を召され、左の如き優渥なる御言葉を賜りたり

▲徐州も陷落したに過ぎず、我が軍が迅速に優勢なる敵を擊破し、赫々たる勝利を收めたるは其の作戰の計劃宜しきを得、各部隊のよく艱苦に耐へし勇猛果敢に行動し海軍航空部隊又適切に之に協力したる結果と認め深く滿足に思ふ、此の旨將兵に傳へよ

北支電力興業の
出資範圍擴大
社名も東亞電力と變更

（東京廿五日）北支電力開發を目的とする北支電力興業公司は當初五大電力の出資によりて設立されたがその後の新增設に基き出資範圍を擴大し新に九州水力、大日本電力、廣島電氣、熊本電氣、中國合同電氣、東信電氣、矢作水力、京都電燈、伊豫鐵道電氣、山陽中央水電、新潟電力、長野電氣、日本海電氣、中央電氣、南鮮合同電氣の十五社の參加を見ると共に社名を東亞電力と變更するに至つた、依つて愈々廿五日丸の内銀行集會所において擴大後最初の各社協議會を開催、重役の增員並に今後の對支進出積極化に伴ふ增資等の具體案につき協議する

▲日支停戰へと第三國が仲介の勞を取り出すとすれば、英米だ。東洋平和の爲め南支の權益を保存したいのが英國の肚だ。平和の護幣を擔がせられるのが米國だ

▲支那を國際監理國にと、モウそんな時代は過ぎた。支那は日本だけの監理國だ。亞細亞に歐米人の聲を容れちやいけない。亞細亞は亞細亞人の亞細亞へ、今一息だ

▲斯が在外日本人の願望でもある、そんな日本人は出て行けと、白人社會から追出されりや亞細亞に歸る。奴隷の如く枷はめられてノンビリ生活し得るも今一息で處だろふ

▲今の滿洲日本移民は自給自足主義じやいけないの營利經營法がいゝのとガヤ〳〵騷いでる時代だ。今から三十年前聖州日本移民も落ちつく迄には第一渡航數の半分は伯國から逃げ出したものであつた

▲やがて滿洲移住民も落ちつくだらう。滿洲ばかりでなく中支も南支もあるんだ。それから先が尙おたのしみである

▲伯國カボクロとなつて樂に死ぬるか、日の丸の旗の下に苦しんで死ぬるか、泌々と考へさせられる秋が來て居る

獨人宣敎師を
共產匪拉致す

（北京廿四日）去る十七日上旬（張北東北約十六キロ）ドイツ人宣敎師カルトネル師ドイツ人宣敎師ハーヂング師外一名は支那人二名と共に廿一日日本軍の手で無事救出された

（三十）は共產軍便衣隊のため拉致され行方不明となつた旨臨城天主堂ドイツ人カトリック宣敎師ベーツ師が廿二日張莊の我關保機關に通報、救出方を願出たなほ去る四月廿四日は山東省南陵鎭において支那軍のため拉致され安否を氣づかはれてゐたドイツ人カトリック宣敎師ハーヂング

貯蓄！家庭は泰安！社會の平和

飛躍!! 前進!!
ブラ拓銀行部の放つ二巨彈!!

▲樂しみの積立貯金と
▲希望の据置貯金　新設

皆さん！ 不用の金を手元に置くのは不經濟且つ不用心です
思案は後から、安心出來る巨人ブラ拓に、まづお預け下さい

積立貯金貸附金條件

一、貸附金額　積立貯金滿期御渡金額を最高とし、手形貸附の形式によります
一、利子　貸附日の利率に依ります
一、手數料　貸附日の利率によります
一、申込資格
（イ）積立金を拾回以上延滯なく拂込まれて居る方
（ロ）此貸附金は各本支店所在地在住の御方に限ります
（ハ）此貸附金は掛金日の早い御方から順に御取扱ひ致します
一、保證人　本行が確實と認むる連帶保證人二名以上（金額二コントス以下の場合は一名以上）但し當行の認むる担保を差入れられる方は保證人を要しません

積立貯金種類

滿期御渡金	毎月掛金 一年	二年	三年	五年
一コント	八二	四〇	二六	一四八〇
二コントス	一六四	八〇	五二	二六八〇
三コントス	二四六	一二〇	七八	四四四〇
五コントス	四一〇	二〇〇	一三〇	七四〇〇
十コントス	八二〇	四〇〇	二六〇	一四八〇〇
二十コントス	一、六四〇	八〇〇	五二〇	二六〇〇
三十コントス	二、四六〇	一、二〇〇	七八〇	四四〇〇
四十コントス	三、二八〇	一、六〇〇	一、〇四〇	五二〇〇
五十コントス	四、一〇〇	二、〇〇〇	一、三〇〇	七四〇〇
一百コントス	八、二〇〇	四、〇〇〇	二、六〇〇	一四、八〇〇

◉規定

第一條　此貯金ハ毎月一定ノ掛金ヲ一定期間受入レルノデアリマス
第二條　滿期日ニ御約束ノ金額ヲ御渡シイタシマス
第三條　毎月ノ掛金ハ掛金日迄ニ當行迄持參願ヒマス
第四條　毎月ノ拂込ヲ中止サレタ方ニハ滿期日ニ別ニ定メタル利息ヲ附シテ拂戻シマス
第五條　此貯金ハ中止拂戻ヲ致シマセン（但シ火災、死亡等ノ場合ハ此限リデアリマセン）
第六條　此貯金ハ譲渡質入ヲ禁ジマス

据置貯金利率（單利）

期間	利率
一ケ年半	六分二厘
二ケ年	六分三厘
二ケ年半	六分四厘
三ケ年	六分五厘
四ケ年	六分七厘
五ケ年	六分九厘
六ケ年	七分一厘
七ケ年	七分三厘
八ケ年	七分五厘
九ケ年	七分八厘
十ケ年	八分一厘

据置貯金滿期元利金表

期間／金額	一ケ年半	參ケ年	五ケ年	七ケ年	十ケ年
一コント	一、〇九三	一、二九五	一、三四五	一、五一一	一、八一〇
二コントス	二、一八六	二、三九〇	二、六九〇	三、〇二二	三、六二〇
三コントス	三、二七九	三、五八五	四、〇三五	四、五三三	五、四三〇
四コントス	四、三七二	四、七八〇	五、三八〇	六、〇四四	七、二四〇
五コントス	五、四六五	五、九七五	六、七二五	七、五五五	九、〇五〇
六コントス	六、五五八	七、一七〇	八、〇七〇	九、〇六六	一〇、八六〇
七コントス	七、六五一	八、三六五	九、四一五	一〇、五七七	一二、六七〇
八コントス	八、七四四	九、五六〇	一〇、七六〇	一二、〇八八	一四、四八〇
九コントス	九、八三七	一〇、七五五	一二、一〇五	一三、五九九	一六、二九〇
十コントス	一〇、九三〇	一一、九五〇	一三、四五〇	一五、一一〇	一八、一〇〇

◉左記表は參考迄に掲げたものでありまして金額は如何程でも差支へありません
又期間も左記表の外に二ケ年、二ケ年半、四ケ年、六ケ年、八ケ年、九ケ年があります

詳細說明書は聖市本店及び各支店宛御申込み次第急送いたします

ブラ拓銀行部

"もう國へ歸りともない"

ブラジルからの留學生達が

天晴れ日本同化振り

某大學長令嬢と許婚のモザイク君

昨年初期日伯文化協會の推薦で文化日本へ書學した最初の二伯人大學生モザルト・ヴアレラ及アントニオ・ピメンテル兩學生は日本到着後、それぞれ專門の學術研究に精進した結果、日本語も學術の方もメキメキ上達し擔任の教授連は歸り度くない等記し、特にモザルト君の如きは某大學々長(?)の令嬢と許婚の仲になるまでになつたとやらでこのニュースはリオ一部社交界で近頃のセンセーショナルな話題となつて居る樣である

ブラジルへ手製人形

総元締海外婦人協會がサルガード氏へ謝意

移民花嫁の

移民花嫁の總元締大日本海外婦人協會で夫人（喜七郎男夫人）の佐賀はかねてブラジルにお世話子夫人（直繩子夫人）の佐賀錦、五十嵐幾見夫人（女博力ふのでそ氏夫人）の色紙、森律子さんのお禮の意味の色紙その他會員約三十名かと日本女性生活の紹介の目的に宛母國の愛國々債を買求め銃後の守りの一助と爲すと同時に公債を子供に殘して子供に惚れ込み、もうブラジルへ

から同會でやつてゐる大日本婦人倶樂部の名流婦人達が思ひ〳〵の手藝品を遙々ブラジルに送り出すこととなつた直接には一昨年來朝したブラジル經濟使節團々長サルガード・フィーリョ氏が歸國後日伯文化協會を作つて親善に努めてゐるので、婦人協會では日本の日伯中央協會と相談の上サルガード氏に宛てその感謝の意を送らうとなつたもの先月來會員の作品を集めてゐたが現在までに小笠原貞子さん（長）人形、末廣、絹刺、日傘などいづれも日本の家庭婦人の生活を物語るお手製のものばかりで來月中旬船出の豫定、上杉貴子協會長も日本女性の氣持ゞ生活を本當に理解して戴きたいと思ひますし、その上これで日本商品の紹介を出來るのではないでせうかと意氣込んでゐる（寫眞はブラジルへ贈る手藝品と上杉會長）

麗し愛國心の發露

今度は愛國公債

子供達へ祖國愛啓培に

我々在留同胞の愛國心の發露が、昨二十五日カンピーナスは献金に感門袋に愈々盛んで在住國枝利治氏より總領事館

植民者の情けで歸る

涙の七十爺さん

氣の毒な老人に旅費の半額を據出する奇篤本村、原田 川崎三氏

「人生古來七十は稀なり」と云はれて來た古稀の祝も人言に老體尚も戴星踏月生きんが爲に否更に病身の息子、幼ない孫達を扶養せん爲春風秋雨孜々として鍬打ち振つて來た涙の老翁、今ははや人生の戰に疲れて哀しや不幸な我一家の幸福を祈りつゝ植民者と海興の好意に感泣し武市百三爺さん（當時六五）醵金し歸國旅費の半額援助を戴き乍ら語る

……

……

武市百三爺さんが故郷阿波の鳴戸の德島市をなす外從來もその家族に對する事となつた、百三爺さんは後に息子の山田吉藏氏（假名）夫妻と二人の子達を連れ立つて常に同情的立場を取つて來た事は稀に見る美擧として一つて遙々ブラジルの土を踏んだのは今から五年前の昭和八年十月二日であつた、見たと聞いたは大違ひ——ブラジルへさへ行けば生活には困らぬと思つて來たに來る早々便りに思ふ息子は早くも病魔に襲はれ今は自分が主働者として一家を支へ七十になる今日の日迄棉や珈琲、米作等をやつて現在聖市郊外サントアンドレ驛に野菜作りとなる迄五年どうやら暮しを立てた事はあつたが寄る年波に最近の衰弱は甚だしく近隣の植民者の同情で昨日海興を訪れ歸國旅費半額補助の恩惠に欲したいと願出たものである

△

右武市百三爺さんの歸國に際しては同驛在住本村末廣、原田義男、川岡一郎三氏が主となり夫々四百五百餞の大金を

「いかい岩さんのお世話になりまして何と御禮云つてよいか分りません、本村、原田、川岡さん方の御蔭で日本へ歸れるなど夢にも考へなかつた事です」と嬉しさに何時迄も鼻をすゝつてゐた

△

倘兩代表は十日迄リオ滯在豫定で多分十日夜聖市へ向け出發の見込みであるがリオ滯在中はグロリア・ホテルに投宿の筈

丸山、甘利使節

プログラム決定

でリオに到着の豫定であるが、兩氏リオ滯在中のプログラムは大體次の通りである

二十七日　外務商工其他關係各省訪問、案内役は大使或は參事官、此の日澤田大使は兩氏を主賓とするレセプションを行ふ、陪賓として同胸有力者招待

二十九日　澤田大使の案内でペトロポリス訪問

三十一日　商工大臣を主賓とする大使午餐會、陪賓として内外高官出席

二　日　兩代表主催晩餐會、邦人のみを招待

倘兩代表は十日迄リオ滯在豫定で多分十日夜聖市へ向け出發の見込みであるがリオ滯在中はグロリア・ホテルに投宿の筈

右質現方何卒御取計ひ下され度く候

コチヤ産組

定期總會

コチヤ産組は去る二十二日午前九時より一九三七年度總會を開催した結果左の諸氏が役員に當選した

（理事）下元健吉、山下亀一、村上誠基、西村一喜、中島捨作、柏野俊三、矢崎桝治、石和佐司馬、石川林藏

（監事）久保勢市、高橋孫左エ門、大利國太郎

なほ剰余金は二六二コントス

三四四ミル八百レース、一九三八年度豫算は二、九〇九コント六五〇ミルである

椎木支店長

病氣快方

止金支店長椎木文也氏はその後病氣全方快方に向ひ最近は午前中一時間位は銀行へ出勤出來る樣になつた由

三月末日以來肝臟病のため久しく自宅療養中であつた歌人銀行家として知られて居るリオ

獸心の友の良き獲物

狂った人妻の情慾

船中にえがく愛慾繪圖

渡伯船上サントス港に着く迄には悲しい、嬉しい男女の事件が起きるが若い男女の事件は最も多く、殊に船中の眞面目な交渉はまだ許せるとして人妻の不倫行爲はどんな狀態にあつても許されぬみにくい事である

今此處にも一つそのみにくい事件がある

福島縣安達郡岩根村の大森利雄（假名）氏はノロエステ線某驛在住の實子利太郎妻女秋を昨年六月、下澤春治の家族に頼んで同航してもらふ事となり、一切をまかしたが當の下澤春治こそ人面獸心の人間で妻ある身を以て軟禁所入所以來、秋を愛居だシネマだと連れて歩いて口說き、秋も又不倫を敢へてし、出船前既に關係するに至つた、其後サントス着迄の一ケ月半の間今度は秋の方より變態的なまでの媚態をなして春治を誘ひ、春治亦下船の際には何かと買い與へ其の愛慾關係は遂に船中の評判にまでなつた

下澤は利太郎がサントスに迎へに來なかつたのをいい事にしてその儘モデアナ線某驛の耕地に秋をつれて行き、利太郎が同耕地に下澤を訪ね、妻秋を引取らんとしても渡さず胸震はせた採用通知が果して誰の頭上に輝くであらうか、今日の午後四時を期して聖市方面のみの採用試驗第一考査の口頭試問が同仁會内に於て午前九時より大正小學校に於て筆記試驗を行ふ事になつてゐるが、聖市内だけで應募者十名、聖市近郊の試驗區内では三十名に達してゐる、まだ〳〵地方から出馳して試驗を待つてゐる人もあらうかボンペイヤ支部では夫々總領事の手元に白地の絹布を送つて來てゐたが一昨日愈々墨恨

右事件を聞いた日本の利太郎は春治並びに秋等の父利雄氏に不道德極まる行爲に驚愕、この程總領事館宛下澤一家の歸國を勸告してもらひたいと書信を寄こした

白衣の天使

けふ口頭試問

午後四時から同仁會で

白衣の天使を夢みた若き小鳩達の憬がれ日本病院看護婦見習生採用試驗も今日明日の中に決ることになつた

胸震はせた採用通知が果して誰の頭上に輝くであらうか、今日の午後四時を期して聖市方面のみの採用試驗第一考査の口頭試問が同仁會内に於て午前九時より大正小學校に於て筆記試驗を行ふ事になつてゐるが、聖市内だけで應募者十名、聖市近郊の試驗區内では三十名に達してゐる、まだ〳〵地方から出馳して試驗を待つてゐる人もあらうかボンペイヤ支部では夫々總領事の手元に白地の絹布を送つて來てゐたが一昨日愈々墨恨

墨恨鮮か!!

総領事得意の一筆昨日

バストス・ボンペイヤ支部へ

予ねて道場に掲げる扁額揮毫を坂根總領事宛申込んでゐた字が出來上り直ちに送附手續柔劍道聯盟バストス支部及びボンペイヤ支部では夫々總領事の手元に白地の絹布を送つて來てゐたが一昨日愈々墨恨

鮮かに武道精神を滲ませた題尚カフエー・サツコの原料となるべきジユツタの輸入は年々增す一方で　昨年度の輸入高は邦貨大約一千万円に達し

獸心の友の良き獲物

狂った人妻の情慾

船中にえがく愛慾繪圖

……

……

……

Noticias DE S. Paulo
Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil
DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCRO KOWYAMA
PROPRIETARIO
Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
Rua Assembléa No, 16
SÃO PAULO-BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno . . . . . 50$000
Semestre . . . 27$000
Numero do dia $500
Exterior, anno- 100$000

御武門を飾る御發明
御研究・陸軍に鳴る朝香若宮
歩兵砲に幾多御成果

歩兵大尉として目下陸軍歩兵學校に御勤務中の朝香宮孚彦王殿下には後備歩兵砲の射撃を一層正確ならしめる爲にと種々御研究を積ませられてゐたがこの程その御苦心の結晶ともいふべき「歩兵砲用射撃豫習板」「同目標機關銃」「同擬裝網枠」外數種の兵器を御考案遊ばされ同校職員一同殿下の御見事な御研究の成果に敬服申上げてゐる

「歩兵砲の射撃豫習板」は從來陸軍では全く無かつたものを御苦心の上御完成遊ばされ標的樺銃たもので「目標機關銃」は今から導線を引いて電流を通じ迄は單に板に圓を畫いたもの又「擬裝網枠」も從來の網が標的として歩兵砲の射撃演習の御考案の枠によりその缺點が習を行つてゐたのを殿下には除去されるに至つたもので「歩兵砲は敵の機關銃を撃つのが主な目的であるから離れた所からでも一寸スキッ動かぬ標的では眞劍な演習チを入れれば自動的に射撃を開始し、これを目懸けて歩兵砲の射撃演習を行ふといふ御考案でこれが實用されて以來同校の歩兵砲射撃の成績は一段と上つてゐる

△ △

此の外數種の御考案の品々は何れも殿下の親しく教官として演習指導に當らせられた登い御體驗から色々と御研究の上完成遊ばされたものばかりである

△ △

同校では歩兵隊長室にこれ等御考案の品々を陳列して殿下の御熱心なる御研究心を一般學生の登い精神的教材として永久に御傳へ申し上げてゐる

無明地獄を救つた
花嫁、白衣の天使
陸軍病院に明朗結婚行進曲

祖國の爲に傷ついた白衣の勇士をめぐる樣々な軍國佳話が語り傳へられる折柄、先に上海戰線に兩眼を失ひ今は陸軍軍醫學校のベッドにある伊佐部隊の道下久平氏と看護婦小川はつさんとの結婚行進曲がこれも軍曹(二四)と四谷荒木町二七番地の結婚行進曲がこれも牛込の陸軍病院にある失明の勇士倉林部隊の福田勝治軍曹(二四)と四谷荒木町二七番地の結婚行進曲がこれも牛込の陸軍病院にある失明の勇士倉林部隊の福田勝治軍曹(四〇)の斜旋で奏でられる事になつた

△

舊臘はつさんが至誠會から軍醫學校に派遣された時から話は始まる

はつさんは神奈川縣秦野町農小川文次郎さんの長女、男四人、女四人の兄弟で昭和七年先の上海事變の頃兩親が四人の男の子がみんな體が弱い爲御國の役に立つことが出來ないと話してゐたのを聞き志を立てて上京看護婦の道を選んだ人で軍醫學校で白衣の勇士を見た時、はつさんは今こそ女なが光榮ある表彰を受ける町村吏ら御國の役に立つべき秋と決心、一番はつさんの心を打つたのは兩眼を失つた勇士たちの姿であつた、出來るなら手助けがしたいと思ひつき本年一月勤めも解かれて看護婦會に歸つてゐた一日、この話が語り傳へられる折柄、先に上海戰線に兩眼を失ひ今は陸軍軍醫學校のベッドにある伊佐部隊の道下久平氏の「おやぢ、おやぢ」と慕はれてゐる福田曹長に告げたものだ、此はつさんの純情は福田曹長の心を強く打つた、そして福田曹長によつて選び出された白衣の天使はつさんの話を聞かされて暗黑の世界に光明を得た思ひ、愈道下軍曹の退院除隊の日を待つて結婚式が舉げられる

石川縣珠洲郡正院村道下よしさんの三男で去る一月十七日原田村の激戰に左のこめかみから右眼にかけて敵の彈丸でうち貫かれ兩眼を失つた、三歳の時に父を失ひ兄弟五人、母の手一つに育てられ福田曹長からはつさんの話を聞かされて暗黑の世界に光明を得た思ひ、愈道下軍曹の退院除隊の日を待つて結婚式が

役場に五十年
白髪に戴く最長勤續の榮冠
町村吏員の三長老

去る十七日天皇陸下の親臨を仰ぎ奉り宮城前廣場に擧行される自治制發布五十周年記念式典に內務大臣から目治功勞者として四百余名表彰されるが內務省地方局調査によると表彰を受ける町村吏員中の最長勤續者は役場書記久郎(八一)で勤續五十二年十一ヶ月、しかも三人共に現職者である

三氏の略歷

長野縣篠ノ井町書記島田勝太さんは慶應三年一月元日生れ明治十八年四月から同二十二年三月まで戶長役場筆生、同二十二年四月から現在まで役場書記、合計五十三年一ヶ月勤續

▲

埼玉縣蕨町長岡田健次郎さんは安政五年一月二十二日生れ明治九年十一月から同十一年十二月まで蕨宿戶長

▲

岩手縣金澤村長兼澤福次郎さんは文久二年六月一日生れ明治二十二年四月から同二十五年七月まで收入役、同二十五年七月から現在まで四十五年十ヶ月間ぶつ通し村長を勤め、町村長だけの勤續年限では日本一の永年勤續者であるが全勤續年數は四十九年一ヶ月

同十九年九月から同二十一年五月まで聯合戶長、同二十二年五から同井九年七月まで助役、同井九年七月七日から今日まで井一年九ヶ月間町長を勤め合計五十二年十一ヶ月勤續

岡田健次郎翁はこの榮譽を前に九日同町役場で語る

永く勤めてゐるだけでこれといふ功勞もないのに表彰を受けることゝなり身に余る光榮と存じてゐます、明治九年十九歳で中山道蕨宿の戶長になつたのが振出しですから思へば隨分永い間勤めたものです、その頃のわが國を今日のわが國と較べますと誠に夢のやうな氣がします

血の翼に羽ばたく五十粁
重傷の身で果す
通信の大使命
殊勳、可憐の傳書鳩

猛鷹に襲はれて重傷を負ひ乍ら五十キロの空を翔破し屬されたのは二月十六日の朝通信の重要使命を果した軍用鳩の雄々しくも涙ぐましい物語、この殊勳の鳩は軍用鳩調査委員會で訓練された今年二歳の優秀軍用鳩で以前にも幾多の殊勳を立てゝ居る

京漢線方面の第○次作戰が開始された當時のこと河原鳩部隊の○○號が破竹の勢ひで張村まで前進した○○部隊に配屬されたのは二月十六日の朝、追擊が余りにも急であつたため前戰の○○部隊との連絡が絶たれたとも判らぬやうな狀態となつた、○○號は万一の場合この兩部隊の連絡をなすべき重要傳令を帶びて居たのだつた、○○號は狹い籠の中でクックッと喉喉を鳴らし乍ら命令を待つて居た、平和の天使も戰場に出ては鋭音に勇み立つのだ

丁度○日午前十時頃だ、何故か兩部隊の無電の交信が全く不能に陥つてしまつた軍用鳩の片道通信によつて後方の○○部隊に連絡をとることになり、○○號が放たれたのであつた

このあたりは山また山だ軍用鳩の大敵たる隼や鷹が非常に多かつた、○○號は幾多の猛鳥群の襲撃を巧に避けながら北へ北へと飛んで行つたのだ猛鷹に左の翼を摑まれて體の自由を失つた○○號の命は風前の灯である、一度猛鷹が地上に降りれば鋭い爪で八裂にされるのである、○○號は猛鷹の鋭い爪が翼の肉に食ひ入つてゐるのを感じながら暫くはなすがまゝに委してゐたが、敵の隙を見出すと必死の羽搏きをなしつゝ猛鷹の翼の下から脱れた、猛鷹はあはてゝ追跡したが○○號は命がけである、傷つきながらも○○號はよく飛んで危地を脱して血まみれになつて更に五十キロを翔破して午後二時過ぎ最も絶え絶えに○○部隊に辿着いたのであつた

○○號は戶車の網に着くと今迄張切つて居た氣が絶えたのか全く動かなくなつた

男子トラック世界最高記錄

種目	記錄	保持者	年度	場所
一〇〇米	十秒二	ジエシー・オーエンス(米)	一九三六	シカゴ
八〇〇米	一分四九・七	グレン・カニンガム(米)	同	ストックホルム
同	一分四九・六	エロイ・ロビンソン(米)	同	ニユー・ヨーク
二、〇〇〇米	五分二〇・四	ミクロス・スザーボ(洪)	一九二四	ブタペスト
二、〇〇〇米	五分二・八	ヘンリー・ジョンソン(瑞)	一九二四	ストックホルム
三、〇〇〇米	五分二六・八	サン、ラマニー(米)	同	ヘルシンキ
八分一四・八		ガーナー・ホーケット(芬)	同	ストックホルム
一〇、〇〇〇米	三〇分五三・六	イルバリ・サルミネン(芬)	同	コウバラ
一五、〇〇〇米	三〇分四四・四	イゾ・ホロ(芬)	一九三六	ヴイブリー
八八〇ヤード	一分四八・六	エロイ・ロビンソン(米)	一九三七	ニユー・ヨーク
一、〇〇〇ヤード	二分一九・七	同	同	フレスノ
一、三二〇ヤード	三分〇〇・四	モスタート(白)	同	ベリー
一哩	四分一六・四	ウツダーソン(英)	一九三六	ロンドン
二哩	八分五六・〇	ガーナー・ホーケット(芬)	一九三七	ストック・ホルム
二哩	一九分〇八・〇	ミクロス・スザーボ(洪)	同	ブタペスト
六哩	二四分四六・八	イルバリ・サルミネン(芬)	一九三六	コウバラ
七哩	二四分四六・八	イゾ・ホロ(芬)	同	ヴイブリー
八哩	四二分〇二・〇	同	同	同
九哩	四五分三二・〇	同	一九三七	同
一五哩	一、一九分四八・八	タミラ(芬)	同	ジユースー
四×二〇〇米	一分三二・〇	スタンホード大學(米)	同	フレスー
四×二二〇ヤード	一分三五・〇	同	一九三六	同
四×四四〇ヤード	三分一二・六	カリホルニア大學(米)	同	フレンソ
四×八〇〇米	七分三五・八	米國チーム	同	ロンドン
四×八八〇ヤード	七分三五・八	同	同	同
四×一哩	一七分一七・二	同	同	同
三〇〇米ハードル	三七・七	インデアン大學	一九三七	フィラデルフィア
三〇〇ヤードハードル	三七・七	ホースト・タウン(米)	一九三六	オスロー
		同	同	同

小學だけで知事さん
矢野富山知事
涙の苦學に"異例"の春

傷兵保護院の人事に伴つて行はれた十六日の內務省異動で學校は小學校を出ただけであるとは全く苦學力行をやつた岡山縣總務部長矢野貴三氏が富山縣知事に榮轉して官界を驚めた人で酒に酔ふとそれを語るのが道樂となつてゐる、大阪生れで當年四十四歳

小學校を出ると福岡の某炭坑に出かけて働きそれから大阪に舞戻つて櫻セメント末次內相の手際は特に下積の屬官諸君から喝采を博したと云ふ、彼は涙なくしては聞かれないほど生活苦をなめつくしてゐる、大阪、青森と地方廻りをやつてゐたが昭和十年小栗警視總監と唐澤警保局長に買はれて警視廳官房主事をつとめ二、二六事件で岡山縣總務部長に轉出した

性格は苦學した人に特有の暗さがなくすこぶる明朗、潤達豪放にすぎるくらゐそれでゐて詩情たつぷり蓬矢と號して俳句をやり千葉縣警察部長當時の「房總の南のはての李畑」はその道の人が推稱してゐる

壁画に赤穗義士
獨力精進大石神社へ卅八枚
生生棒ぐ無名画家

播州赤穗の大石神社では縣社昇格十周年記念事業として義士繪畫館、武德殿、青年宿泊所建設の三大事業を計畫中であるが、そのうち繪畫館にをさめる義士の誠忠ヶ物語る大壁畫三十八枚が無名の一畫家によつて十年計畫で同社に奉納されることゝなり話題となつてゐる

明石市山下町の畫家岩崎清峽氏はかねて赤穗義士に傾倒しその研究をつづけてゐたが、義士繪畫館の建設計畫を聞き「自分の一生をこの繪畫館を飾る壁畫の捧毫に捧げよう」と決心、この四月から製作に取りかかり、まづ「松の廊下の刃傷」の場面の下圖だけを畫きあげた

壁畫は幅九尺高さ十一尺淺野家が常州笠間から赤穗入城の圖にはじまり山鹿素行の藩士への輪講、討入り、田村邸の切腹、赤穗城外の混乱、城內の大評定、大石次郎の切腹、赤穗城外の山科閑居、妻子の別れなど型の如く、さらに明治大帝の御東行に際し、大石の墓前に長く勅宣を賜ふの圖を加へ全部で三十八枚、これには少くも十年の歲月を要するとの

岩崎畫伯談 私は一無名の畫家ですが日ごろ私の傾倒する義士の壁畫を私一人で引受けて奉納しようと決心しましたので、秋祭までには三十八枚のうち二枚だけでも完成させて一般の方に見て戴かうと思つてゐます、繪の具代だけでも相當に金のかかることですが十年計畫で何とかしてやり遂げる積りです

さいころ捨て
念佛三昧の勇士慰問

「堅氣育ちの面なる旅にいつある、見ると先月末二十五日か外れて無宿者」……やくの拘留が明けて同署を釋放さざ渡世十五年、士族の次男坊れたばかりのやくざ、無職が轉同流行りの非常時局に描士族の嘉納至善(三四)の變き出した物語……十七日朝つた妻だ、同人の祖父は新左朗々と觀音經誦し乍ら言問警衛門廣房といひ島津藩の武士神山署長を訪れた托鉢坊主が奉職し今回の事變で應召、し子さんは唐津高女出身の從妹の間柄であつた

(佐賀發)

戰死の夫に殉ず
許婚の乙女自殺

十六日朝六時十五分伊万醫線有田發戶口行列車の機關士が佐賀縣西松浦郡東山代楠久兩驛間の路切で若い令孃風の變死體を發見、伊万里署で檢視の結果、同縣山代町字楠久小岩炭坑長井上作次郎氏次女よし子さん(二四)と判明、去る三月二十七日中支戰線で名譽の戰死を遂げた佐賀市外本庄村出身高橋部隊上等兵百副次郎氏と許婚で殉死を遂げたものと判明した

江副上等兵は早大第二高等學院を中退後台灣總督府に前に死亡、至善はその次男坊で父の沒後堅氣の生活を續つて錦城中學三年の時家を飛出校入學檢定に合格、大正九年には高女の行政科をパスすると櫻セメントを円滑に退社して同年十二月大阪府立工業學務取扱を拜命、大正十年府愛宕郡長に出た、以來福井、大阪、青森と地方廻りをやつてゐたが昭和十年小栗警視總監と唐澤警保局長に買はれて警視廳官房主事をつとめ二、二六事件で岡山縣總務部長に轉出した

この時監視の布施巡査、田中保安主任に懇々とさとされ、心の底に流れて居た武士の血の足を洗つて罪業消滅の第一歩を皇軍戰沒將士の靈を全國に葬はうと頭を丸め、四角のさいころを念珠に持ち替へてかくはお禮心に同署を訪れたものであつた、人生三轉、至書の姿は何時迄續くか……

今迄隨分惡い事をしましたこれからは良い事をして罪のつぐなひをしたいと思ひます、何處の野末に果てるやら夫れも其時、ただ全國を廻つて戰沒勇士の靈を慰めたいと思ひますと語りながらでは皆さん御氣嬢ようと「南無妙法蓮經」の御題目を唱へつゝ飄然と立ち去つた

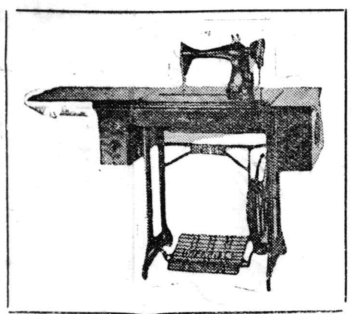
耳から眼から
一時に習ふレコード
日支語の交流へ拍車
重寶な試作品成る

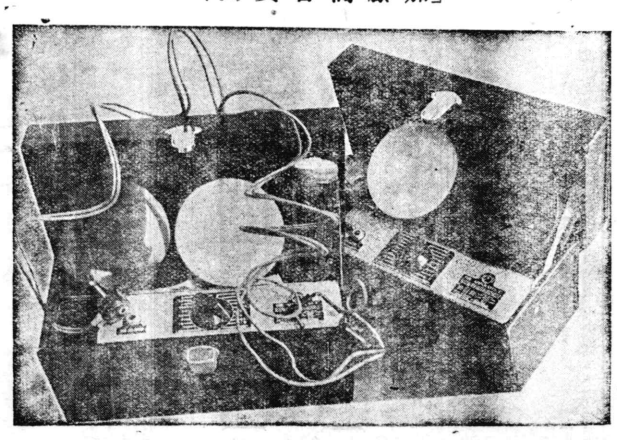
內地各所に支那語講習熱が昂まる一方中支現地でも治安回復の第一工作として日本語習得の徹底を期してゐるがこの言葉にして發聲法の正しい會話が眼と耳からいつときに覺えられる樣な「先生不要」の便利なレコードが考案されその事業化を期待されてゐる、蓄音機によつて語學を習得するにはこれ迄耳から音聲を學ぶレコードと眼に文字を訴へるテキストとをひき合しながら勉强しなければならなかつたが非常に煩はしく上達も遲いのでこの交流に拍車をかけるべく蓄音機を聞いた丈けで居ながら會社の購買係助手に雇はれたのが大正五年一月、日給七十錢、その間讀書は一日も廢せず、同年二月學校入學檢定に合格、大正九年には高女の行政科をパスすると櫻セメントを円滑に退社して同年十二月大阪府立工業學務取扱を拜命、大正十年府愛宕郡長に出た、以來福井、大阪、青森と地方廻りをやつてゐたが昭和十年小栗警視總監と唐澤警保局長に買はれて警視廳官房主事をつとめ二、二六事件で岡山縣總務部長に轉出した

性格は苦學した人に特有の暗さがなくすこぶる明朗、潤達豪放にすぎるくらゐそれでゐて詩情たつぷり蓬矢と號して俳句をやり千葉縣警察部長當時の「房總の南のはての李畑」はその道の人が推稱してゐる

たものか血に染まつた遺品筒を脚に着けたまゝばつたり倒れたが河原部隊長が直ちに薄いヨードチンキを血だらけの口から注ぎ込み應急手當を爲すと間もなく蘇生して立ち上つた

翼を調べて見ると一錢銅貨大の穴があいて生々しい爪の跡が背にまで達し居る、追はれる際に傷ついたと見えて右の目も裂傷があつて右の目が殺血してゐさかつて居たがこの責任感の强い○○號の行爲には痛く將兵を感激させたのだつた

國產の誇インペリアルミシン
工業日本の躍進の姿をここに見よ

ブラジル一手販賣元
伊藤商會
聖市郵國三一三二
付賞懸問訪國毋
中出賣回二第
てに店聖代の地各はめ求御

驚異的偉効
今や唯一の民間療法機として
ブラシルを風靡せる
本社抽籤大懸賞八等九等賞品
イ一治療機
「加藤商會賣出」


十三四歳の
子守入用
聖報內 橋口